

2023年9月期 第3四半期 決算説明会資料

2023年8月9日（水）

証券コード：9438



本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

■ 目次

■ P.01 3Q決算概要

- 02 決算ハイライト
- 03 連結PL
- 04 連結販管費内訳
- 05 セグメント別業績

■ P.16 今後の取り組み

- 17 FY2023基本方針と重点課題
- 18 クラウド薬歴
- 20 母子手帳アプリ+子育てDX
- 25 学校DX事業
- 28 中期的な収益イメージ

■ 付属資料

<https://ir.mti.co.jp/library/presentation/>

- 31 FY2023業績予想
- 32 連結BS
- 33 連結PL推移
- 34 連結販管費推移
- 35 セグメント別業績
- 39 主なヘルスケアサービス一覧
- 40 ヘルスケアサービス全体像
- 41 クラウド薬歴
- 43 母子手帳アプリ
- 47 学校DX事業

3Q決算概要

決算ハイライト

1

営業利益は減益、当期純利益は増益

- ・売上高： 20,113百万円（前年同期比+758百万円）
- ・営業利益： Δ 17百万円（前年同期比 Δ 440百万円）
⇒ 法人向けDX支援事業の赤字案件
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益： 495百万円（前年同期比+583百万円）
⇒ 還付消費税等（特別利益）の計上873百万円

2

- ヘルスケア事業： 赤字縮小傾向続く
- 学校DX事業： 赤字縮小傾向続く
- その他事業： 法人向けDX支援事業の赤字案件の収束対応を進める

連結PL

売上高：増収

営業利益：減益、経常利益・四半期純利益：増益

(単位：百万円)

	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	19,354	20,113	+758	+3.9%	1Q: 動画配信の スポット売上計上
売上原価 (原価率)	5,756 29.7%	6,495 32.3%	+739	+12.8%	1Q: 動画配信の スポット売上原価計上
売上総利益 (利益率)	13,597 70.3%	13,617 67.7%	+19	+0.1%	
販管費 (販管費率)	13,175 68.1%	13,635 67.8%	+460	+3.5%	広告宣伝費の増額 (AdGuard)
営業利益 (利益率)	422 2.2%	△17 △0.1%	△440	-%	
経常利益 (利益率)	87 0.5%	151 0.8%	+63	+72.4%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	△88 △0.5%	495 2.5%	+583	-%	3Q: 還付消費税等 873百万円の特別利益 計上

連結販管費内訳

広告宣伝費：増加

(単位：百万円)

	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	前年同期比	
			金額	増減率
販管費総額	13,175	13,635	+460	+3.5%
広告宣伝費	1,137	1,569	+432	+38.0%
人件費	5,786	5,929	+142	+2.5%
支払手数料	2,315	2,223	△92	△4.0%
外注費	1,542	1,462	△80	△5.2%
減価償却費	991	924	△67	△6.8%
その他	1,400	1,526	+125	+9.0%

AdGuard向け
販促費の増加

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
(エンタメ・ライフ系コンテンツ)
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他

LunaLuna

母子手帳アプリ



CARADA 電子薬歴
Solamichi

学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND

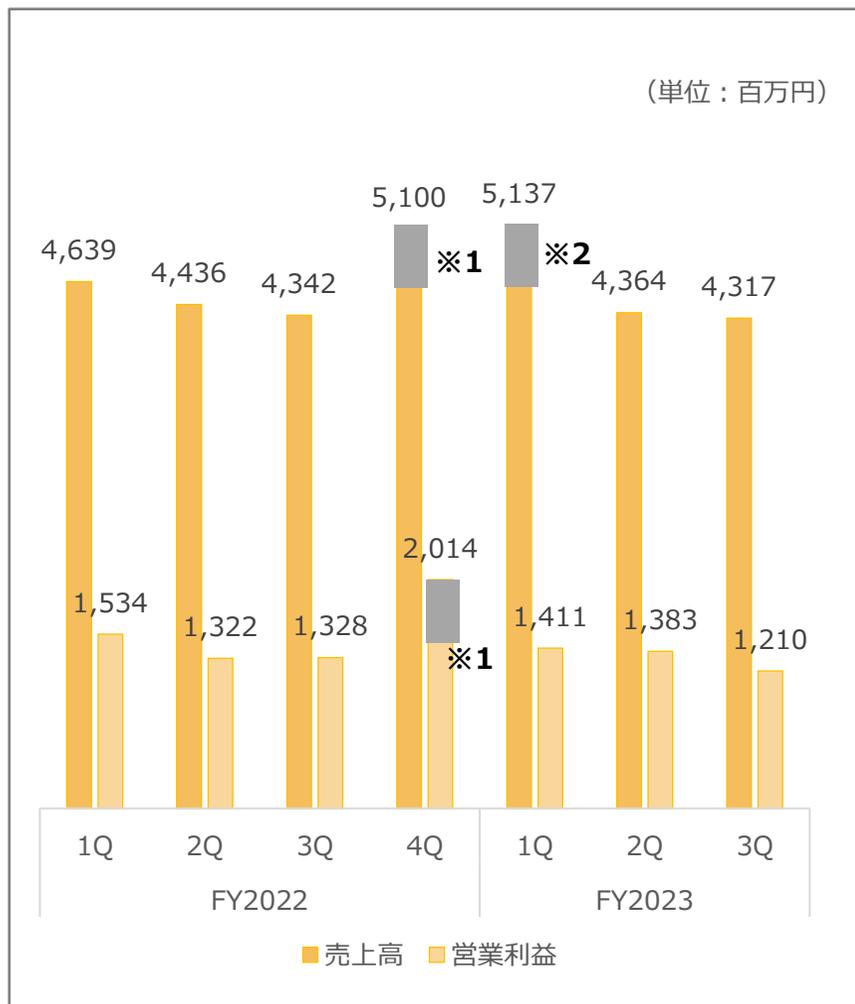


その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



コンテンツ事業：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高横ばい

- ・ 有料会員数ほぼ横ばい

営業減益

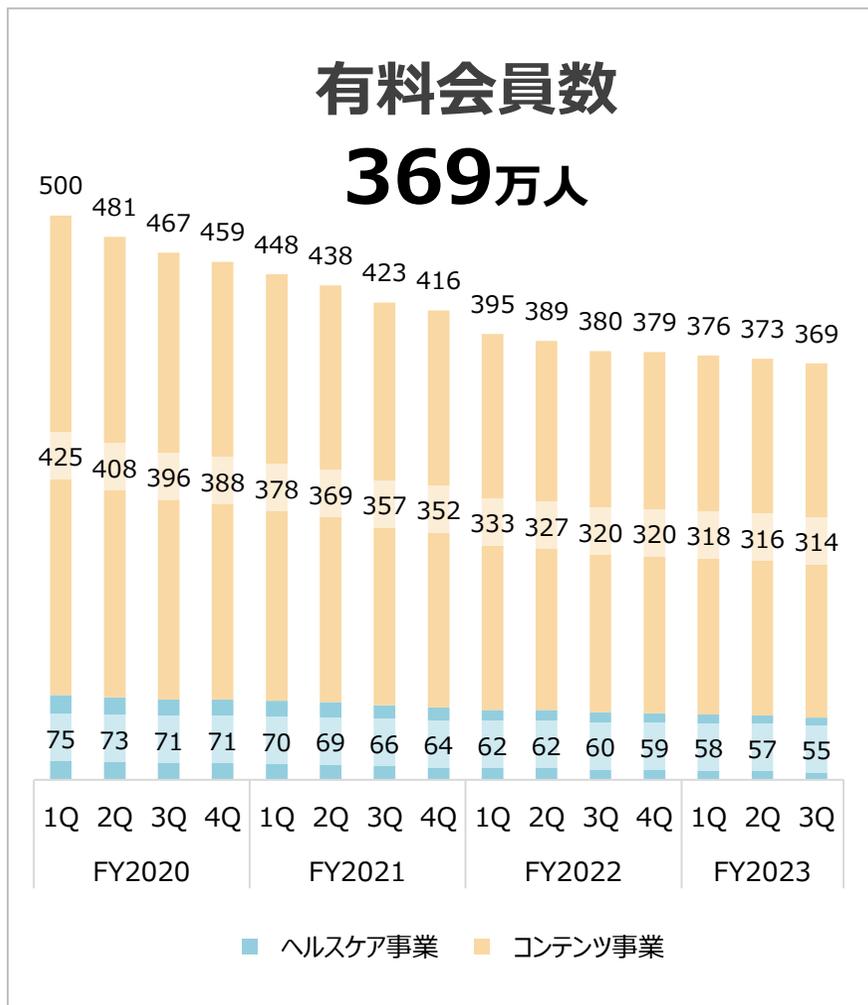
- ・ 広告宣伝費増加

特殊要因

※1：売上高・営業利益717百万円：
ポイント付与型月額コンテンツにおける消費税処理の変更

※2：売上高739百万円：
動画配信のスポット売上計上

コンテンツ事業：有料会員数



減少幅は縮小

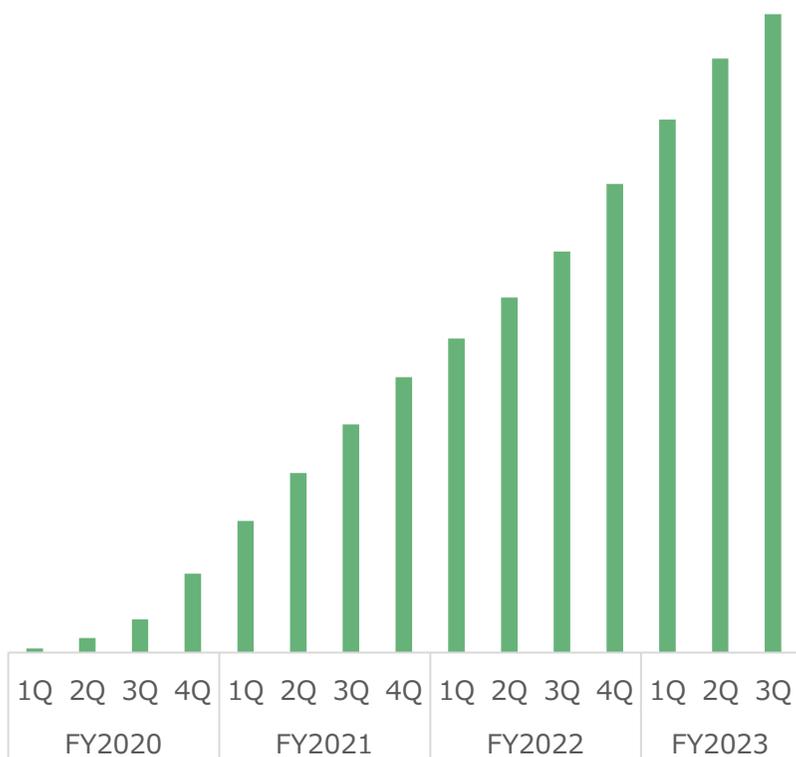
- ・ セキュリティ関連アプリ好調
- ・ 直前四半期比では横ばい

※グラフは従来からの月額会員数集計方法に合わせ、ヘルスクエア事業の月額課金モデルの有料会員数（リナルナ、カラダメディカ）を含んでいます。

コンテンツ事業：セキュリティ関連アプリ



ADGUARD 有料会員数



セキュリティ関連アプリ好調 61万人まで拡大

4つの機能



広告ブロック



追跡ブロック

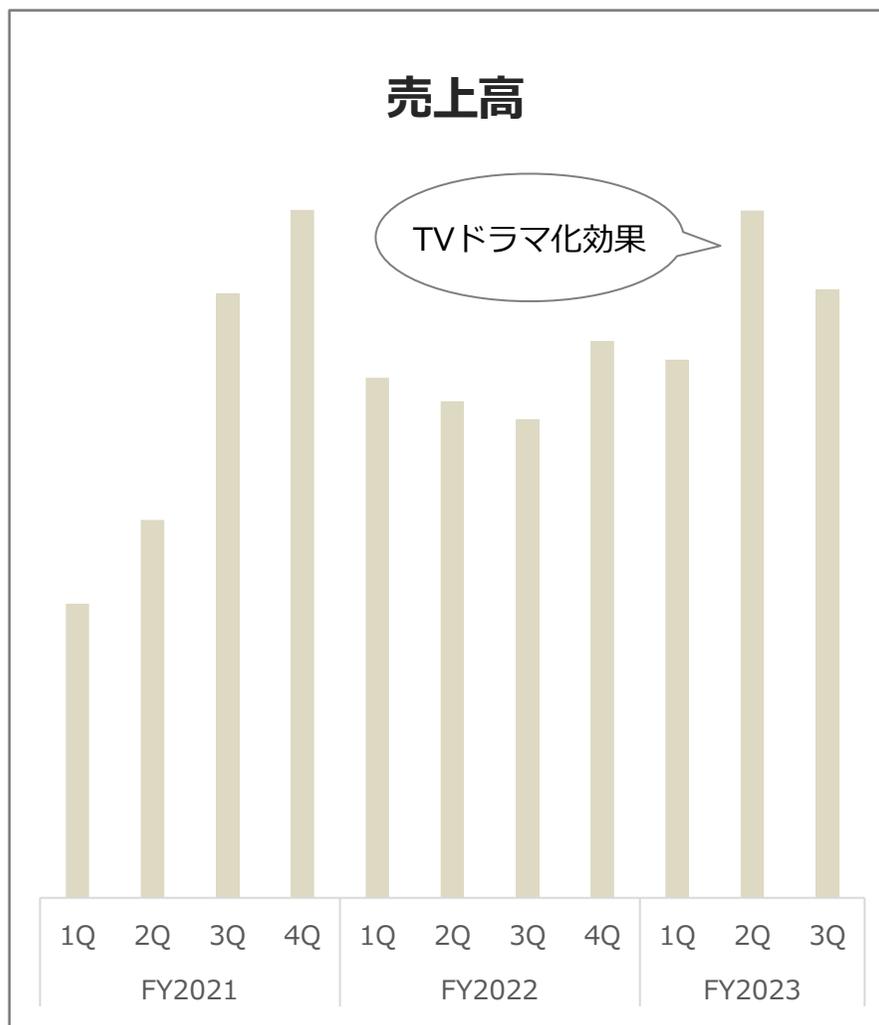


脅威ブロック



ペアレント機能
(子どもの保護機能)

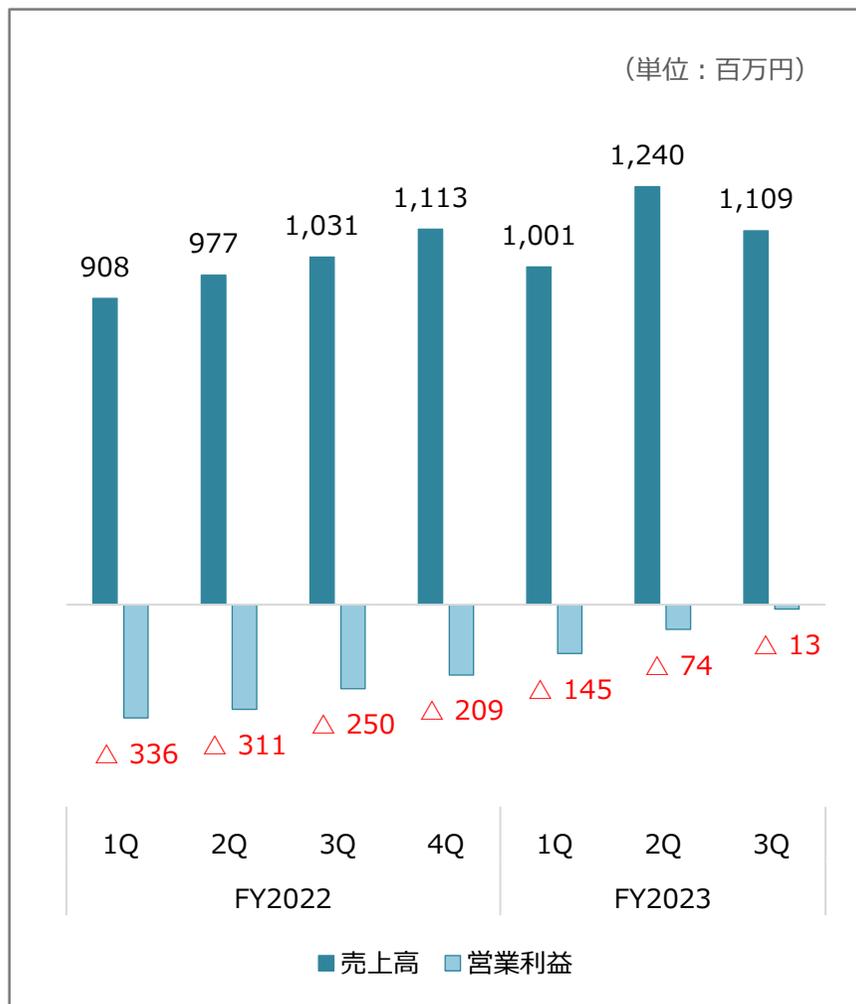
コンテンツ事業：オリジナルコミック



安定成長

- ・ ヒット作品連載が寄与
- ・ 作品投入数維持

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



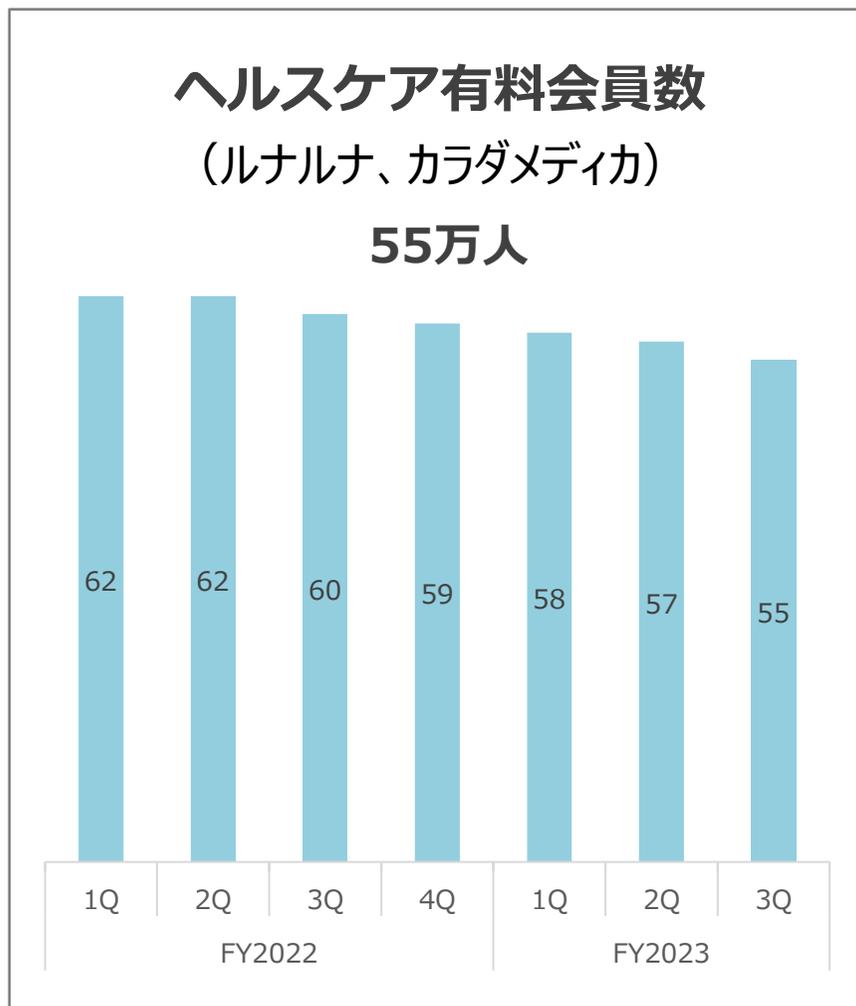
直前四半期比

売上高減収

- ・クラウド薬歴（スポット売上減）
- ・子育てDX好調（スポット売上減）

赤字縮小

ヘルスケア事業：有料会員数



直前四半期比

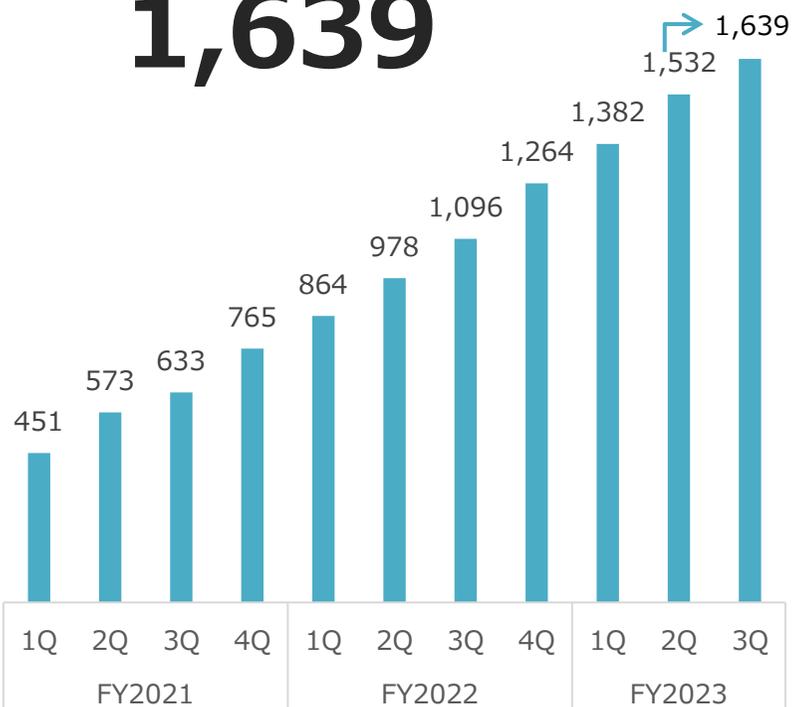
ほぼ横ばい

ヘルスケア事業：クラウド薬歴

ČARADA 電子薬歴 Solamichi

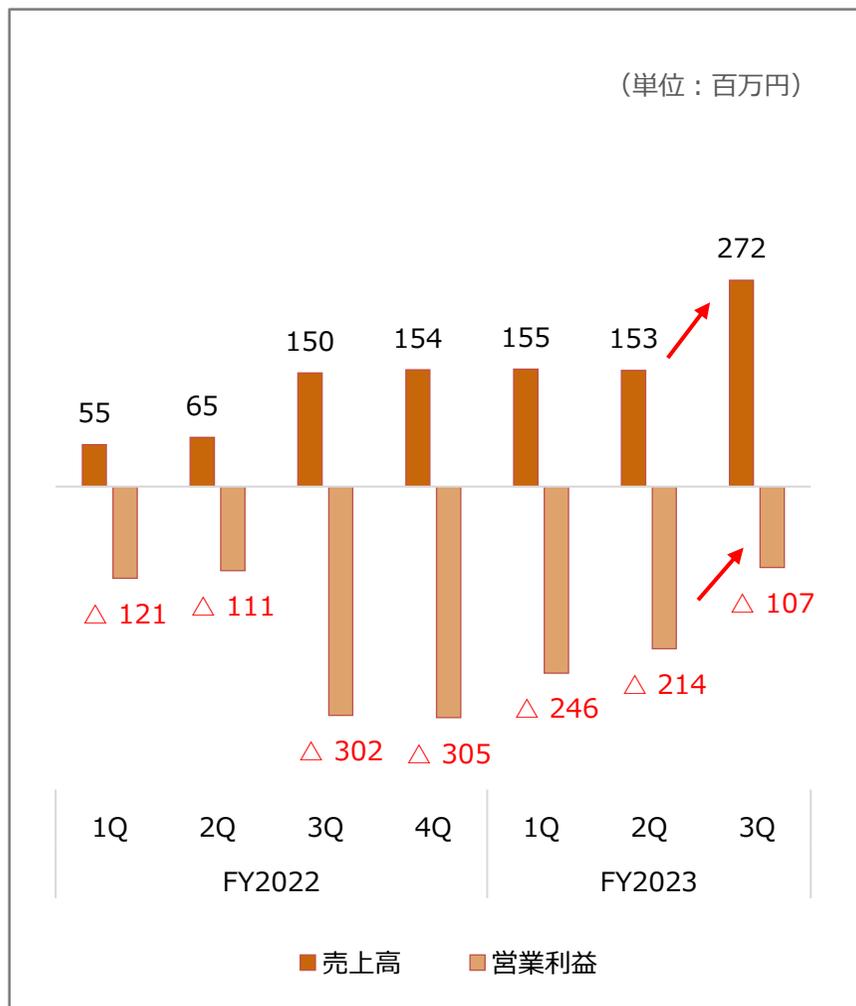
導入店舗数
1,639

+107



導入店舗数、順調に拡大

学校DX事業：売上高・営業利益



直前四半期比
売上拡大

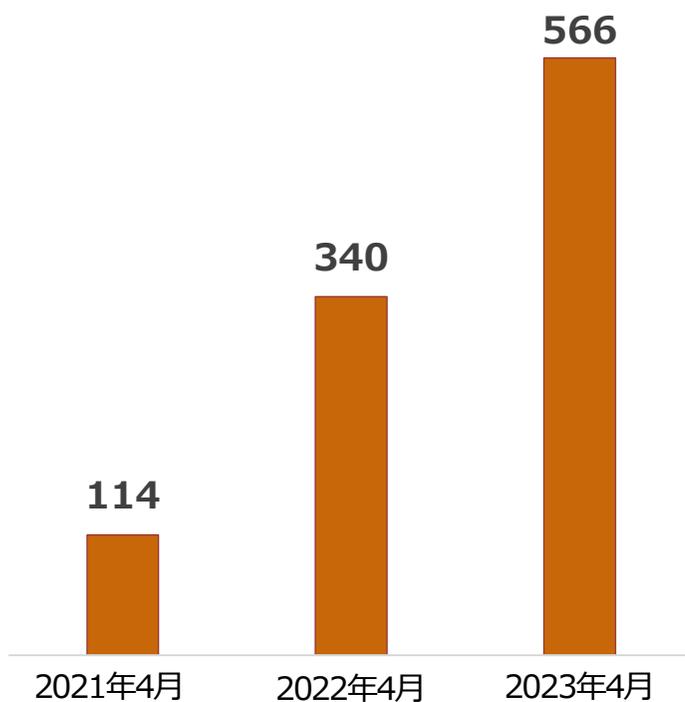
・ 導入学校数の増加

営業赤字は大幅改善

・ 増収効果

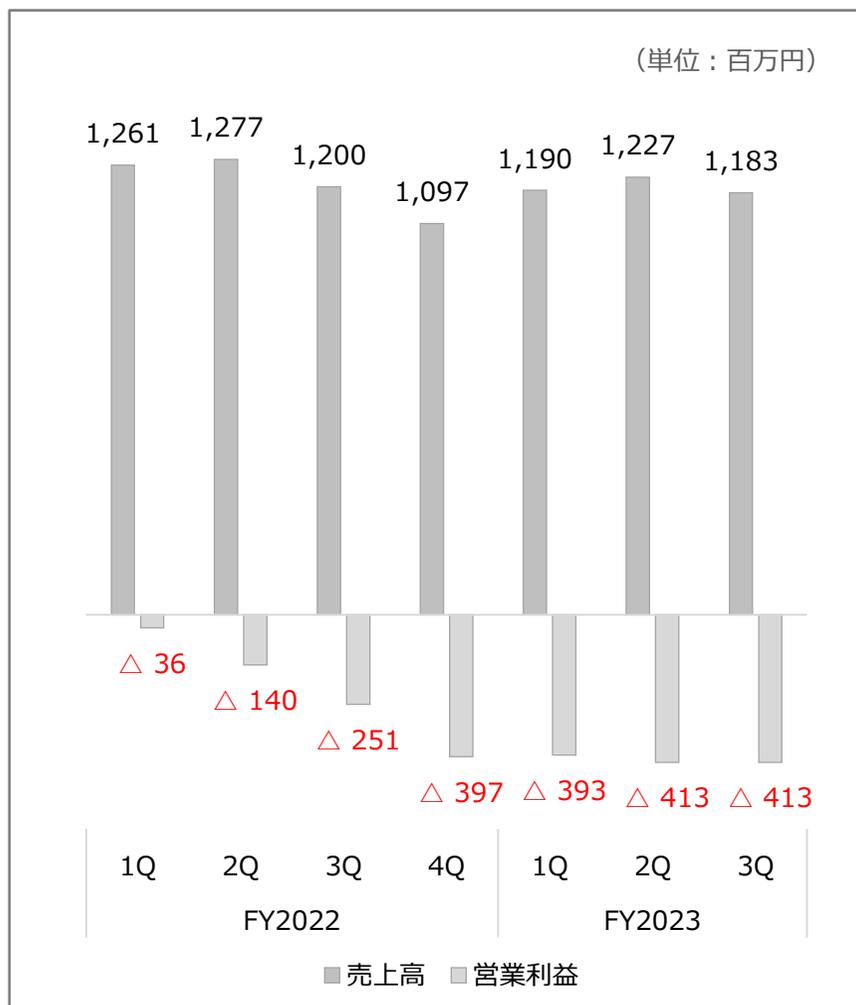
学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

導入学校数



導入学校数拡大

その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



営業赤字

- 法人向けDX支援事業の一部で赤字案件対応

今後の取り組み

FY2023基本方針と重点課題

1. ヘルスケア事業：さらなる売上成長

- ① クラウド薬歴事業のさらなる拡大
- ② 子育てDX『母子モ』のプラットフォーム戦略推進

2. 学校DX事業：さらなる売上成長

- ① 『BLEND』のバージョンアップ
- ② 4月の導入学校数拡大

3. コンテンツ事業：利益確保

- ① オリジナルコミック事業成長
- ② セキュリティ関連アプリ成長

4. その他事業：売上成長

(AI、DX事業)

- ① AI事業の拡大
- ② DX支援事業の赤字案件収束

ヘルスケア事業：クラウド薬歴

調剤薬局と患者をつなぐ

クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi



ヘルスケア事業：クラウド薬歴

営業連携の強化と機能開発の強化を継続

① 営業連携の強化を継続

- ・ 医薬品卸大手との協業



⇒さらなる営業情報の共有と効率化

② 差別化に向けた機能開発の強化を継続

- ・ 他店舗間薬歴連携機能
- ・ 在宅・介護向け機能
- ・ 加算ロジック、指導ナビ
- ・ 電子処方箋対応 他 随時追加予定

ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

子育て世代と自治体・病院をつなぐ

母子手帳アプリ+子育てDX





ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ『母子モ』から始まる プラットフォーム事業展開

Phase 1：母子手帳アプリ『母子モ』

Phase 2：オンライン相談

Phase 3：子育てDXサービス



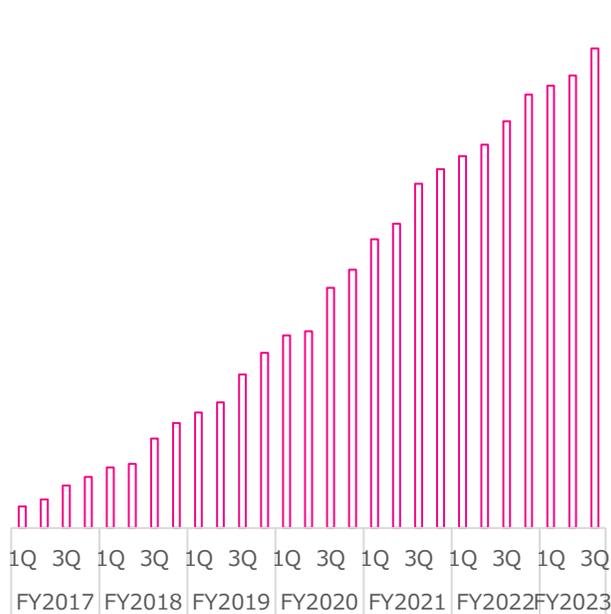
ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

『母子モ』利用自治体の子育てDXサービス導入が加速

Phase1

母子手帳アプリ

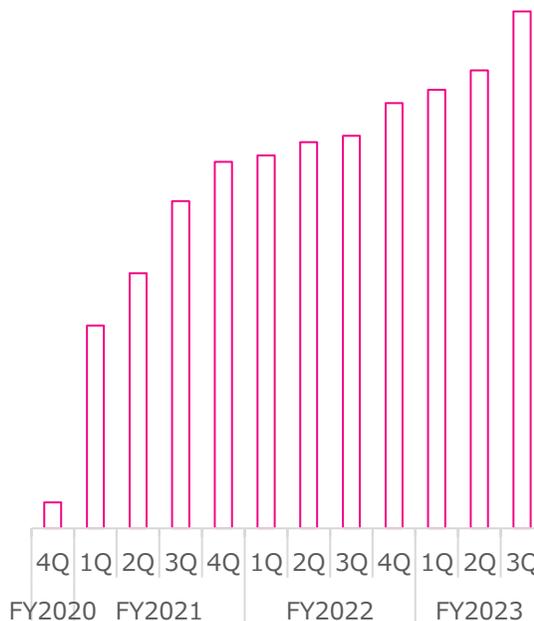
553



Phase2

オンライン相談

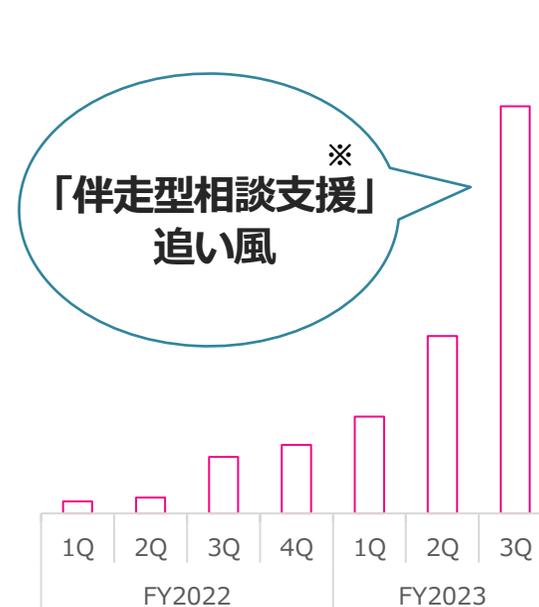
79



Phase3

子育てDXサービス

100



※厚生労働省による2023年1月開始の政策。4月1日から「こども家庭庁」に移管。



(ご参考) 母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ+子育てDXのプラットフォーム化進む

Phase	1	2	3
サービス機能	母子手帳アプリ	オンライン相談	子育てDX ・質問票・予約票機能 ・小児予防接種 (デジタル予診票等) ・乳幼児健診 ・乳児全戸訪問
料金 <small>※料金体系は出生数に応じ 各自治体別に設定しています。</small>	月額 5~10万円	+	月額 数万円 + 初期：数百万円~ 月額：数十万円~
導入自治体数 <small>(全国の自治体数 1,741)</small>	553	79	100

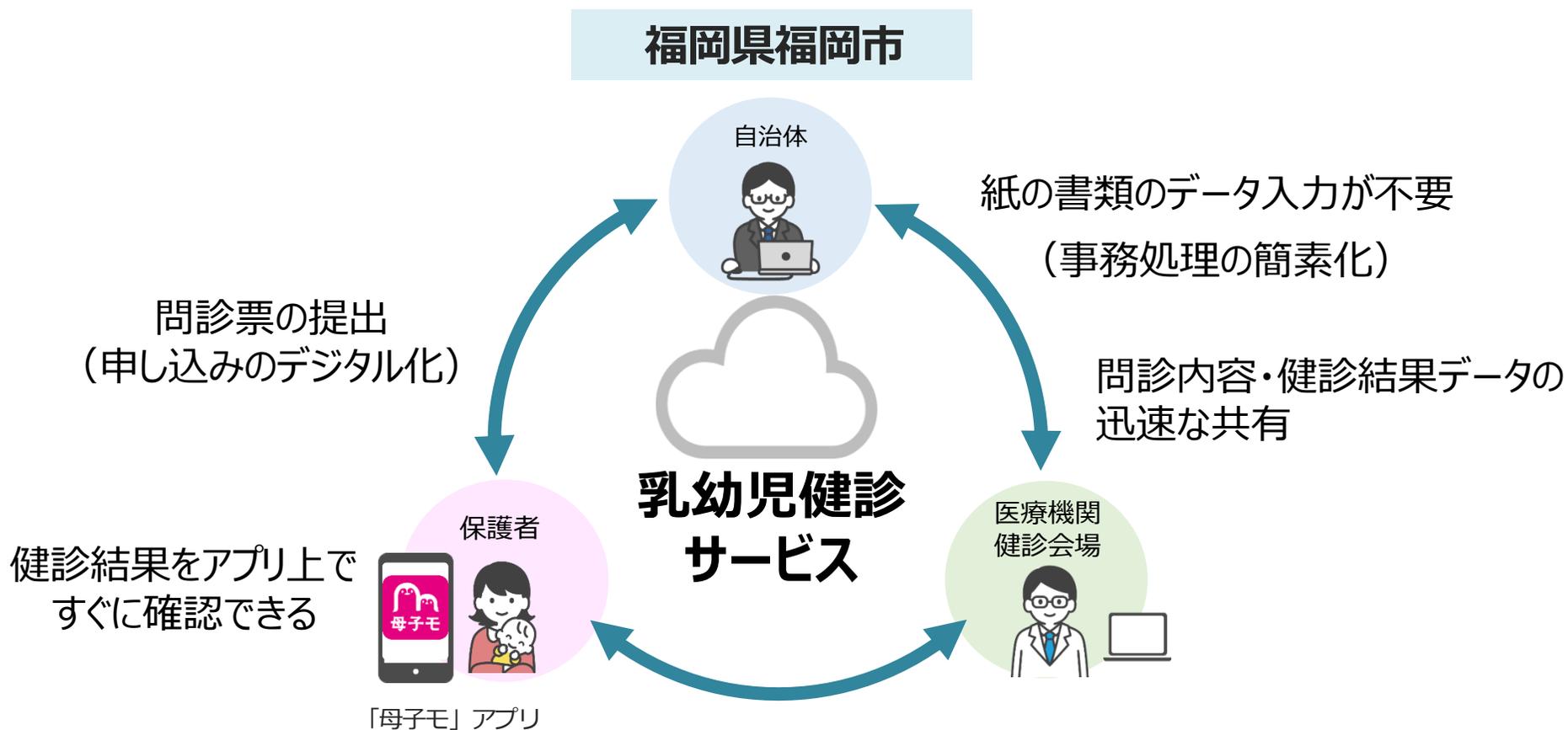
※
「伴走型相談支援」
追い風



(ご参考) ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

乳幼児健診サービス導入により自治体の子育てDX進む (問診票と健診結果のデジタル化)



生徒と教師をつなぐ

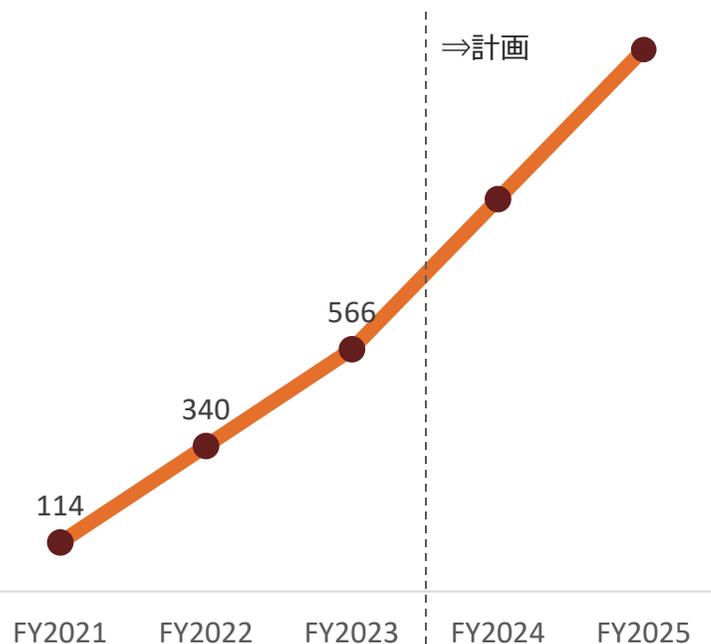
クラウド型校務支援システム

BLEND



学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

導入学校数の拡大イメージ

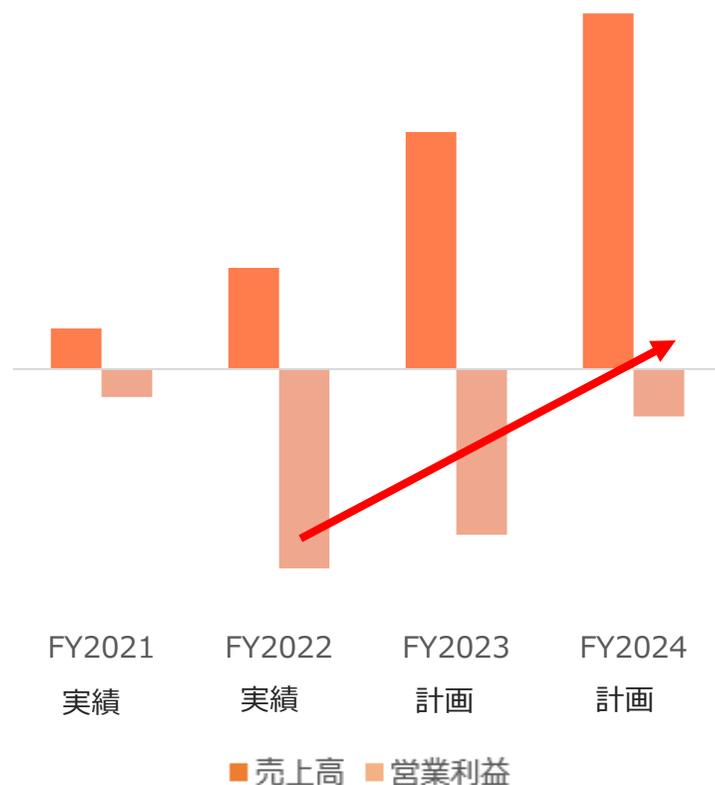


来期の導入学校数拡大へ

- ・ 2023年10月導入の受注確定 (26校)
- ・ 2024年4月導入の候補案件多数

学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

中期的な収益イメージ



来期の大幅赤字縮小に目処

売上高：導入学校数の拡大

営業利益：1校当たり導入費用の大幅削減

中期的な収益イメージ (セグメント別)

コンテンツ事業

有料会員数減少幅縮小・高需要コンテンツに集中

ヘルスケア事業

ストック売上 (=利益) 拡大に注力

学校DX事業

短期間で急成長

その他事業

(大手法人向けDX支援、AI事業等)

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ I R室
e-mail:ir@mti.co.jp
<https://ir.mti.co.jp>